



# ふくち基弘

## 県政だよりvol.57

### INDEX

- 生活福祉保健委員会 委員長に選任
- 多額盗難事件の再発防止対策等を求める
- ソウルの交通対策を現地調査

<http://ameblo.jp/fukuchi-motohiro/>

連絡先 : ふくち基弘事務所  
広島県広島市西区己斐上2-36-7  
電話/FAX 082-271-5369



# 生活福祉保健委員会 委員長に選任



定例会の様子

広島県議会6月定例会が開かれました。総額5億3891万円の補正予算や、広島がん高精度放射線治療センターの指定管理について運営コストの縮減を図るため利用料金制へ移行する条例などについて審議を行い、可決成立しました。ふくち基弘が所属する民主県政会からは宮政利議員が一般質問を行い、核兵器廃絶に向けた取り組みや働き方改革と生産性向上、教員の長時間労働と人材確保などについて質しました。また、高山博州氏の副議長辞職を受けて選挙が行なわれ、第107代副議長に松岡宏道氏が選出されました。ふくち基弘は、生活福祉保健委員会・委員長に選任されました。

### 一般質問 宮政利議員(呉市)

- 核兵器廃絶に向けた海外メディア活用についての対応方針は？
- 働き方改革に関する県独自の、あるいは市町の取り組みを補完するような支援策を検討・実行すべきと考えるがどうか？
- 東京都が主導した「ヘルプマーク」に一本化して、理念と実践の普及啓発に取り組むべきと考えるがどうか？
- 人口減少時代を迎える今、「総合的な交通政策」の策定が事業を配置する上で有効ではないか？
- 県教育委員会は、教員の長時間労働撲滅のため、どのような直接的対策を講じるのか？

### 5億3891万円の補正予算成立

- 保育士のキャリアアップ支援……………2600万円
  - イノベーション人材の育成・確保強化……………2000万円
  - 医療・介護サービス提供体制の充実……………1億7200万円
  - 広島空港の拠点性強化……………3億4200万円
  - 県立歴史博物館の展示機能強化……………1億3700万円
  - 広島がん高精度放射線治療センターの運営効率化……………△2億2400万円
- etc.

MOTOHIRO FUKUCHI

### 「広島県中小企業・小規模企業振興条例」の制定に向け検討

広島県議会では政策条例検討委員会を開き、「広島県中小企業・小規模企業振興条例(仮称)」の制定に向け議論を行っています。このたび条例案の素案がまとまり、県民の皆様から広くご意見を募集します。募集期間は、7月3日(月)～8月2日(水)、郵送・FAX・メールのいずれかの方法でご意見をお寄せください。

なお、素案は広島県議会のホームページをご覧ください。



郵便はがき

〒733-8790

広島市西区己斐上2-36-7

広島県議会議員 ふくち基弘事務所 行

差出有効期間  
平成31年4月  
30日まで



科  
学  
選  
挙  
人  
私  
権  
便

差し支えなければご記入下さい。

お名前 \_\_\_\_\_ (男・女)

ご住所 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

個人情報、広島県議会議員ふくち基弘の政務調査活動以外には使用しません。

# 多額盗難事件の再発防止対策等を求める



所属する警察・商工労働委員会において、5月に発生した広島中央警察署で発生した盗難事件について警察本部に対する質疑を行いました。他の議員から事件の状況などについて質疑が行われたことから、ふくち基弘は再発防止対策について質問しました。

県警として防犯カメラの増設などを行い、2度と同様の事件が起こらないよう努めるとの答弁がありました。ふくち基弘は証拠品等を保管する金庫の鍵の管理方法自体を見直す必要があることを指摘しました。民間金融機関などでは多額の現金が入った金庫の鍵を一人だけで開けることができないような対策を講じていることを紹介し、より効果の高い対策を講じるよう求めました。

また商工労働局に対しては、県内への観光客増を受けて広島市内を中心に違法民泊も増加していることから、状況についての認識と対策について質問しました。観光客と事業者がWIN-WINの関係を築けるよう、衛生面を管理する担当部署ともしっかり連携して取り組むよう要望しました。

## ソウルの交通対策を現地調査

5月31日から3日間、広島県議会議員・広島市議会議員の有志、広島電鉄の労働組合役員の方々と、ソウルの交通政策について現地視察を行いました。

老朽化した高速道路を撤去せず歩道として再生し観光スポットとなったソウルロ7017や、片側4車線以上の道路に導入されている中央バス専用レーン、ソウル市内の交通情報を全て一元管理するシステム(TOPIS)などを視察するとともに、ソウル市副市長や市役所交通運営課の課長から交通政策の概要や公共交通システムについて説明を受けました。

ソウルロ7017はパク市長の肝いりで実現したものであり、また中央バス専用レーンなどソウルの交通政策はイ・ミョンバク元市長が整備を進めたことで大きく進んだもので、行政トップの決断により政策が実現することを示しています。またTOPISを管理するソウル市交通情報センターは、交通のみならず豪雨災害やテロ対策など危機管理を行う拠点施設であり、軍や警察とも連携して対応を行っています。さらにシステムから得られた公共交通に関するデータをビッグデータとして蓄積、分析することにより議員の政策立案にも役立っているとのことでした。広島県においてすべてを導入することは無理ですが、路面電車レーンへのバス乗り入れやシステム開発などについて検討する必要も感じました。



高速道路が歩道に変わった様子

MOTOHIRO FUKUCHI

県政で取り組んでほしい課題は何ですか。(複数回答可)

- 税金のムダ遣い一掃     医療・介護など福祉の問題     広島県の財政再建  
 教育問題     子育て対策     景気対策     雇用対策     防災対策  
 その他 ( )

「テロ等準備罪」法案が成立しましたが、どう感じていますか？

- 非常に安心     ある程度安心     ある程度不安     非常に不安  
 どちらとも言えない     その他 ( )

ご意見・ご質問などございましたら、ご自由にお書きください。

---



---



---

### 湯崎英彦知事、三選出馬へ

6月21日、小林秀矩議員の一般質問に対し、湯崎知事は「来たる秋の知事選挙に向けましては、引き続き、県民の皆様への御負託がいただけるのであれば、諸課題に果敢に挑んでいく決意を固めたところでございます」と述べ、11月に行われる県知事選に出馬する旨を表明しました。

